

令和4年度 地域おこし協力隊 活動報告

大洗町まちづくり推進課 萬里小路忠昭

2023/03/29

はじめに

までのこうじ ただあき

萬里小路 忠昭 (35歳)



1988年東京都八王子生まれ。小学生から茨城県牛久市で育つ。

2010年3月 法政大学 法学部国際政治学科 卒業

2010年4月 ゼビオ株式会社 新卒入社 福島県・北海道店舗勤務

2013年4月 ネット事業部 ECチーム異動 販売戦略/プロモーション企画

2015年4月 デジタルハリウッド大学院 入学

2016年3月 デジタルハリウッド大学院 修士課程修了

デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士号取得

2016年4月 営業支援部 宣伝販促・デジタルマーケティングチーム異動

オムニチャネル戦略/プロモーション企画

2018年6月 GMOアドマーケティング株式会社 入社

コンテンツマーケティング事業部 コンテンツプランナー

2020年2月 独立：Thinking Design Lab 代表

グランドデザイン、コンテンツプランニング、ライター 等

2022年5月 大洗町 地域おこし協力隊 (委託型)

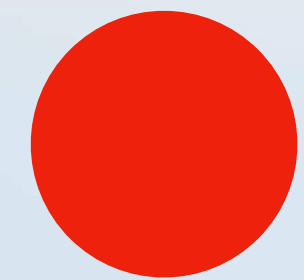
神奈川県藤沢市との二拠点生活中。趣味は読書と散歩と家事。

旅するようにはたららく

2021年度 訪れた地域



プライベート（旅行・ワークショップ）



仕事（イベント・研修・取材など）



地域おこし協力隊になったきっかけ

2022年1月～「Create Owarai -笑顔をつくる遊び創りワークショップ-」

Create
Owarai

笑顔をつくる
遊び創り
ワークショップ

あなたのアイデアで、
私たちと一緒に、大洗を
盛り上げていきませんか。



「酒蔵」「砂浜」「キャンプ場」がテーマです。

酒蔵・砂浜・キャンプ場という3つのテーマを軸に、
あなたならではの視点とアイデアで大洗の新しいコンテンツを作りあげましょう！
もちろん、各テーマオーナーやコーディネーターがしっかりサポートするのでご安心を。



酒蔵

「大洗における
「夜の楽しみ方」を創る」



Theme owner
大里夫妻
(古川酒造店担当オーナー)



砂浜

「通年楽しめる
「ビーチの楽しみ方」を創る」



Theme owner
小野瀬とき子さん
(大洗サンビーチ担当オーナー)



キャンプ場

「大洗らしいアウトドア」
の楽しみ方を創る」

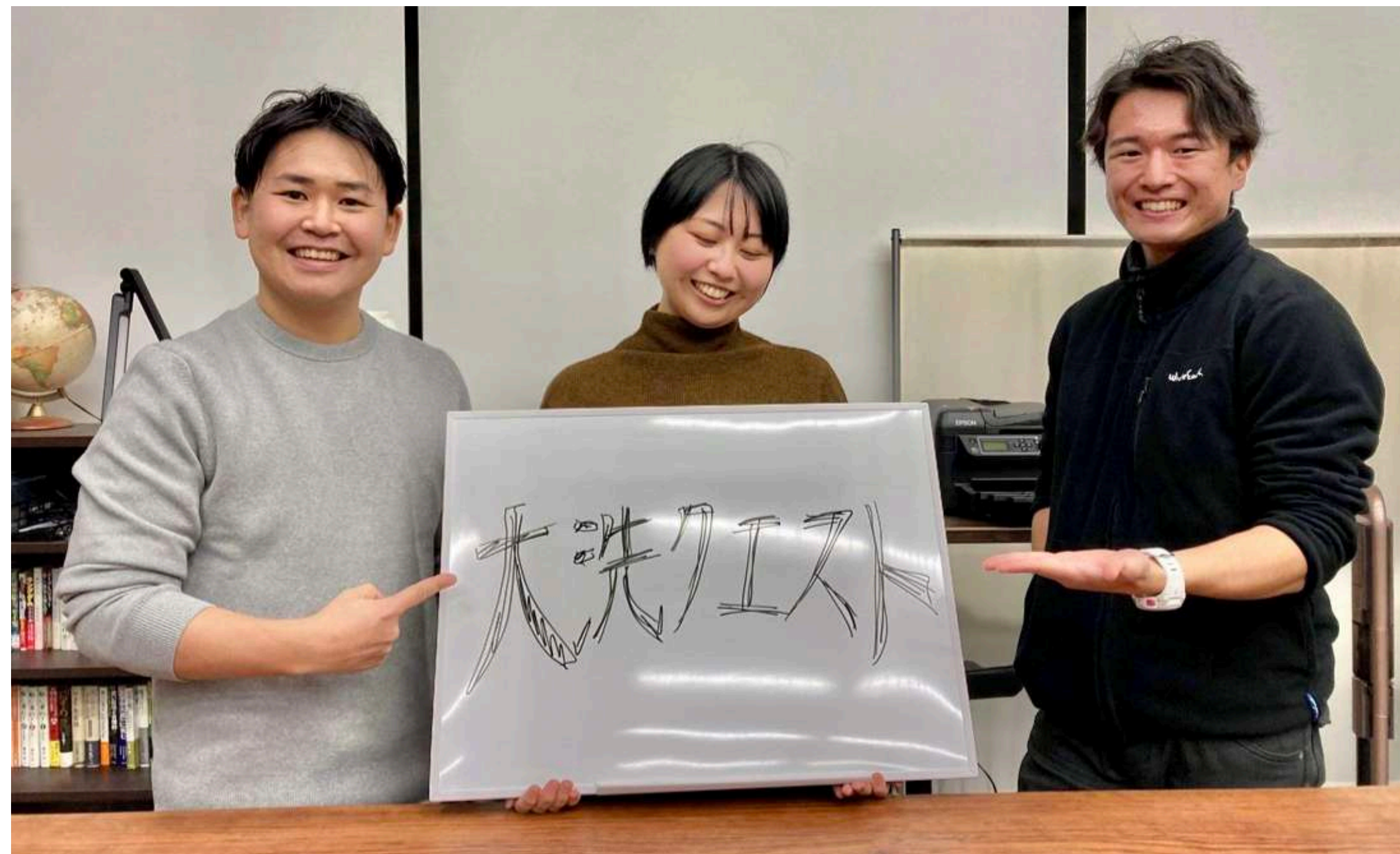


Theme owner
光又新二さん
(大洗キャンプ場担当オーナー)

[Coordinator] 大洗町役場、大洗観光協会、大洗町地域おこし協力隊 [SP supporter] 大洗カオス

大洗クエストを結成しイベントを企画

2022年3月20日(日)に大洗キャンプ場で遊びづくりイベントを開催



今年度の活動内容

主な活動内容（業務仕様書より）

- ・地域の隠れた資源の掘り起こしや若い世代の移住定住の推進に取り組む
- ・地域経済対策および移住定住の推進に取り組む
- ・特産品の開発やブラッシュアップをはじめ、マーケティング活動による地域経済対策および地域活性化に資する活動や人口減少、少子高齢化対策として移住定住の推進に取り組む



- ①マーケティング活動を通じ、各種分析や広報活動を行うとともに、地域課題や魅力の再発見を行う
- ②地域特産品の開発やブラッシュアップ等を行い、魅力向上を図る
- ③地域の声を吸いあげ、地域を元気にする取り組みを企画・立案し実行する
- ④大洗町の地域資源の発掘と活用を見出すため、積極的に各地域を回り、「地域の宝探し」を行う
- ⑤大洗町の地域振興や産業振興に係る取り組みを行う
- ⑥移住定住に関する情報発信、相談対応
- ⑦移住定住に関する企画提案、運用
- ⑧その他、地域の課題解決や活性化に資する活動を企画・立案し実行する

主な活動テーマ

以下の3つのテーマにおいて活動を実施

地域資源の
発掘・発信

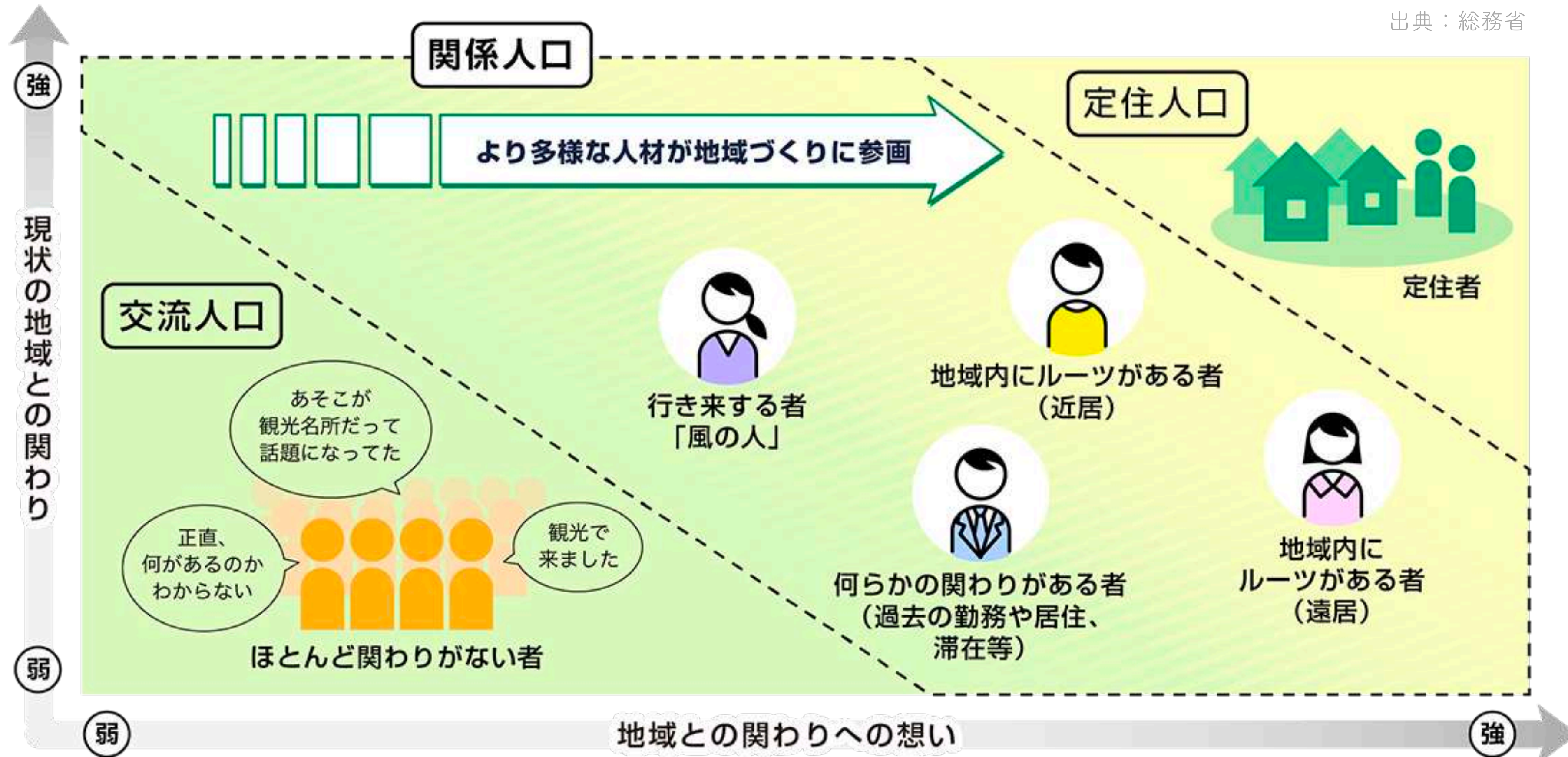
関係人口
の創出

移住定住
の促進

【補足】関係人口とは？

「関係人口」とは、主に観光に訪れた「交流人口」と地域に住む「定住人口」の間に位置する地域と多様に関わる人々を指す言葉

出典：総務省



取り組み一覧（時系列）

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

地域資源
の
発掘・発信

大洗魅力発掘プロジェクト（ワークショップ・フィールドワーク・MAP制作） ※大洗クエスト

事業者インタビュー・記事作成

関係人口
の
創出

大学連携①（玉川大学）

大学連携②（玉川大学・茨城大学）

Local Quest Lab（地域間連携） ※大洗クエスト

ワーケーションプログラム

Create Owarai -まちづくりプログラム-

移住定住
の
促進

移住定住の取組整理

広域連携事業（県央地域9市町村）

移住サイト Re:BARAKI（県）

移住セミナー（県）

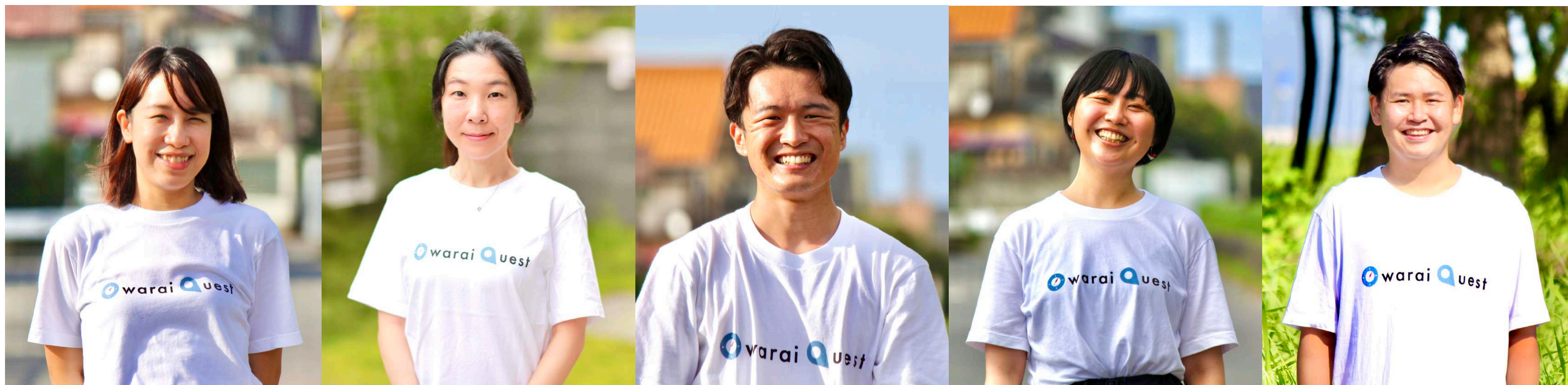
地域資源の発掘・発信

①大洗魅力発掘プロジェクト

関係人口メンバーで構成された大洗クエストと連携しまちの魅力を発掘



大洗
魅力発掘
プロジェクト



参加者と大洗町を巡る&魅力マップをつくる

あなたの一枚と一言が
大洗町の新しい地図に
フィールドワーク&ワークショップ

2022/07/17 (sun) 10:00-17:00

景色 写真 ルート
自然 グルメ 商店街 人物

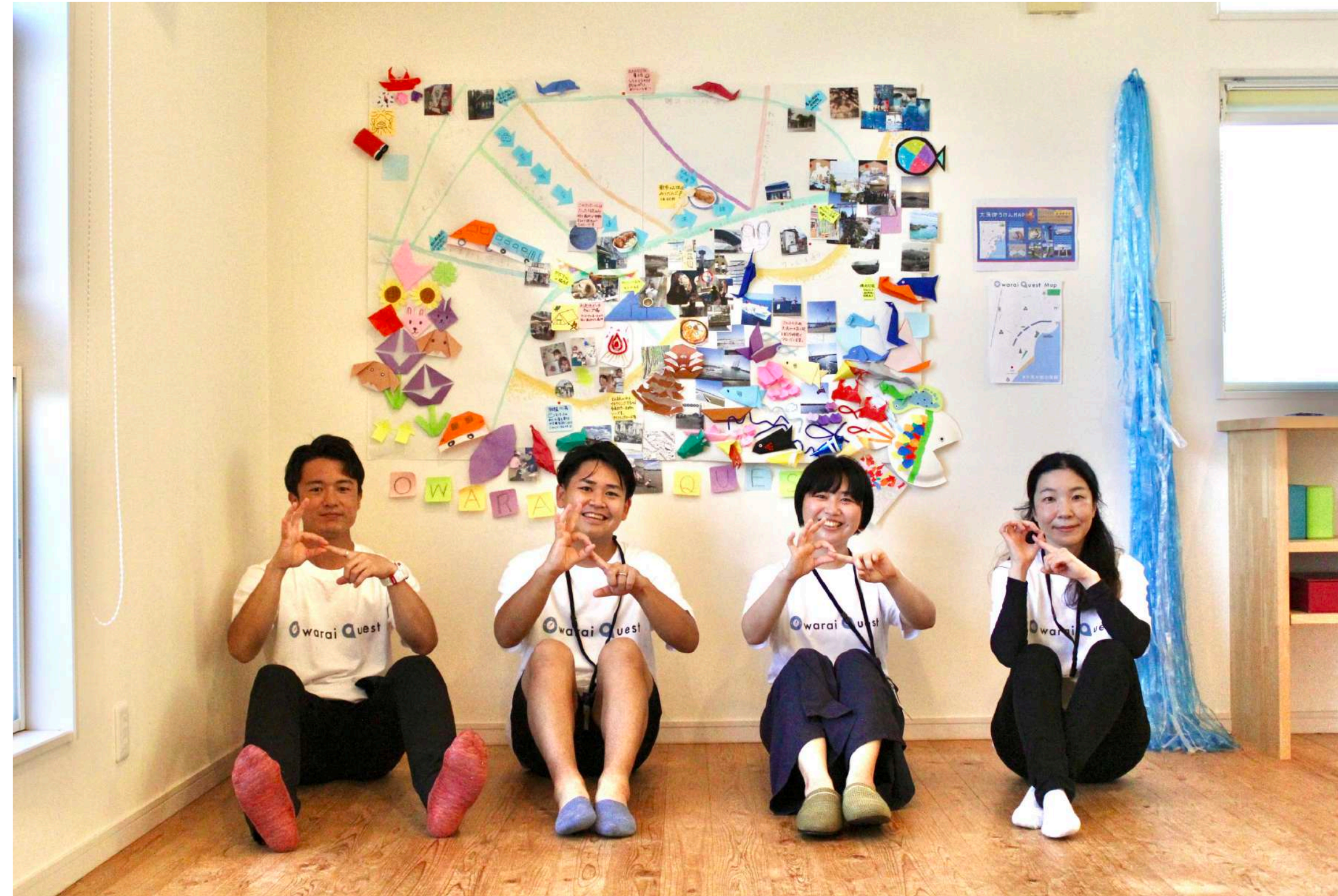
#大洗の魅力発掘

まちを歩いたり自転車に乗って探索して地図をつくります!

そのまちを好きになるきっかけや魅力は絶対的な一つではなく、一人ひとり違うと思います。大洗町にはいろいろな魅力的なスポットやお店、人物、グルメ、景色、風景、歴史、通り、アクティビティなどがあります。今回はその魅力をまちを歩いたり、自転車に乗ったりして探索するフィールドワークと、一人ひとりが感じた魅力を地図に落としこむワークショップを開催します。大洗町のことを知るきっかけに、夏の思い出に、子どもと過ごす素敵な時間になれば幸いです。

日時：2022年7月17日(日) 10:00-17:00
場所：大洗町大貫町256-533 (クリーム色の建物)
駐車場：5台まで (満車の場合は近くの大洗サンビーチや海浜公園駐車場に停めてお越しください)
費用：無料 (会場までの交通費等は実費となります)
申込：裏面のQRコードより申し込みください
運営：Owarai Quest (大洗クエスト)
協力：大洗町 (まちづくり推進課)
後援：一般社団法人大洗観光協会

Owarai Quest 魅力発掘プロジェクト



フィールドワーク

■商店街フィールドワーク (各回5名まで)
①10:00-12:00 会場~大貫~巖釜~永町商店街付近
②13:00-15:00 通り町~曲がり松商店街~サンビーチ~会場
※こちらは参加者同士で徒歩で町を回ります。
※①②両方の参加も可能、①②の間 (12:00-13:00) はランチ時間となります。

■サイクリングフィールドワーク (各回4名まで)
①10:00-12:00 ②15:00-17:00
※こちらは参加者の好きなところを自由に回れます。

申し込みはこちら

■ワークショップ

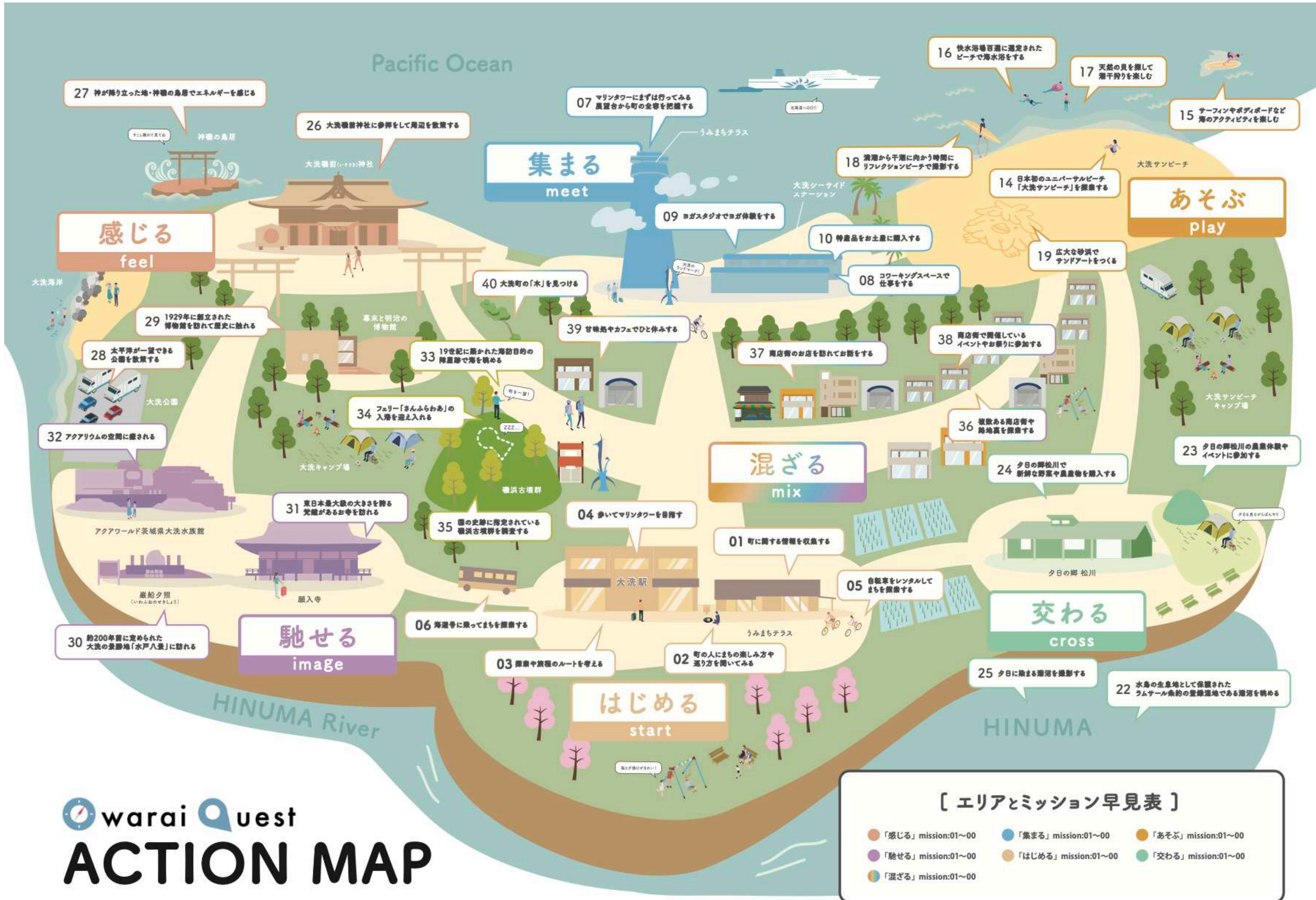
■親子ワークショップ (各回3組まで)
①10:00-12:00 ②13:00-15:00
※お天気が良ければ、会場付近を探索するミニフィールドワークに出かけることもできます。

■みんなの地図ワークショップ (5名程度)
13:00-17:00 (好きな時間でご参加ください)
※大洗町の魅力 (スポットや景色など) をスマホで事前に撮影 (現像した写真の持参も可) して参加するとより楽しめます。

申し込みはこちら



オリジナルマップを制作（3/31完成予定）



Owarai Quest
ACTION MAP

はじめまして 大洗クエストです！

大洗クエストはメンバー全員が町外に住みながら、地域づくりに関わる大洗町の「関係人口」として、まちづくりや地域活性化に貢献する取り組みを行っています。2022年5月に、大洗町の魅力をもっと見つけていこうと「大洗魅力発掘プロジェクト」を立ち上げ、現地でイベントを開催したり、参加者の方と一緒に発掘した魅力を発信してきました。これらの取り組みを通じて、より多くの人と大洗の魅力を発掘することや私たちのように地域づくりに関わる人を増やすことを目的に「Owarai Quest MAP」というパンフレットを発行することにしました。今回のvol1ではその経緯や内容、今後の展開をお伝えしていきます。

一つの問いからプロジェクトがスタート

大洗クエストは2022年1月に「Create Owarai」という地域課題解決プログラムに参加した3名のメンバーで結成し、3月に初めて大洗町でイベントを開催しました。その後、新たにメンバーが増えて5名体制で活動をしていくことが決まり、企画会議からキックオフしました。その中で、大洗町の印象や魅力について話をする時に、その答えは一人ひとり違うことに気がきました。一方で、自治体の視点だとまちの魅力はある程度固定化されたワードでPRしているように思いました。そのギャップを認識した時に、「そのまちを知るきっかけや好きになるきっかけは絶対的な一つがあるわけではなく、一人ひとりの見方や視点の数だけあるのではないか」という問いが生まれました。そこから、大洗町にある様々なスポットやお店、グルメ、通り、景色、風景、自然、歴史、アクティビティ、人などに触れたり、関わったりすることでまちの新しい魅力を発見する取り組みができたという考えから「大洗魅力発掘プロジェクト」はスタートしました。



写真のキャプションを入れる。キャプションで内容を簡単に補足するテキストを入れる。写真のキャプションを入れる。キャプション

まちを探索する2回のイベントを実施

プロジェクトの方向性が決まり、次に本年度におけるプロジェクトのゴールとして「地図をつくる」を設定しました。大洗町に住んでいる、茨城県内に住んでいる、町に関わりやゆかりがある、定期的に訪れている、観光に来たことがある、来たことはないけど知っている...などいろいろな大洗町との関係を持った方々の中で、それぞれの視点で町の魅力を可視化できたらと考えました。そのゴールに向けて、魅力を発掘するイベントを7月と10月の2回開催することを決め、準備を進めてきました。1回目のイベントでは、まずは一人ひとりの見方や視点を少しでも可視化することを目的に、参加者の方々と大洗町を徒歩と自転車で探索するフィールドワークと、探索中に発見した魅力を地図に落とし込むワークショップを実施しました。続く2回目のイベントでは、7月のイベントを通じて発掘してきたまちの魅力をより知ってもらうことを目的に、独自にまち探索の「ミッション」を作成し、提案&体験型のフィールドワークにアップデートをしました。探索するエリアも拡大して「歴史」「未来」「自然・環境」「グルメ」「アクティビティ」「リラックス」の7つのカテゴリーに分けて、計50のミッションを作成し、イベントで参加者に提案しました。



写真のキャプションを入れる。キャプションで内容を簡単に補足するテキストを入れる。写真のキャプションを入れる。キャプション

発掘してきたことをベースに地図をつくる

2回のイベント開催を通じて、私たち自身も大洗町を探索しながら、参加者と一緒にまちの魅力を発掘し、ミッションに落とし込んで探索するきっかけを提案してきました。その後、プロジェクトがスタートするきっかけとなった「そのまちの魅力は一人ひとりの見方や視点の数だけある」という問いに立ち返った時に、少しでも多くの人で大洗町を探索してもらったきっかけやその中で少しでも多くの魅力を発掘する取り組みにつなげていきたいと思いました。そして、本年度のゴールに設定した「地図をつくる」に向けて、11月末に編集会議がキックオフしました。そのMAPの制作過程は次のページをご覧ください。ただこれだけでは、今回制作するパンフレットの総称を「Owarai Quest MAP」にし、そのvol1となるタイトルを「大洗を因解する」にし、そのメインコンテンツとなる地図を「ACTION MAP」にしました。私たちは大洗魅力発掘プロジェクト以外にも様々な活動をしているので、その活動報告やコンテンツを広報媒体的な位置付けでOwarai Quest MAPは今後も発行していきたいと思っております。vol1「大洗を因解する」を体感してもらいつつ、アクションマップを活用して大洗を探索してもらえたら嬉しいです。



写真のキャプションを入れる。キャプションで内容を簡単に補足するテキストを入れる。写真のキャプションを入れる。キャプション

② 事業者インタビュー・記事作成

ふるさと納税施策と連携して地域事業者へインタビューを実施



事業者の想いやこだわりなどをインタビュー



「カニの可能性から食の可能性を追求する」 お客様と共に成長するカジマ

♡ 1

Owarai Quest (大洗クエスト)
2023年1月19日 22:30



茨城県大洗町で水産加工、食品卸、飲食・小売を展開する株式会社カジマ。カニを中心としたお惣菜やお弁当に、オリジナルのコロッケなどを展開しています。今回、小売部部長・惣菜店「かじま」店長の梶間千萩さんにカジマのこだわりなどについてお話を伺いました。



▼ 目次

- 千萩さんが今、一番関心あることを教えてください
- 商品開発に対する思いがどんどん強くなっているんですね
- 千萩さんのこれまでの仕事について、印象的だったことを教えてください
- 千萩さんが仕事をする上で大事にしていることを教えてください
- とても雰囲気の良い職場なんですね
- 水産加工業をメインとしていた事業から、飲食・小売業にも至った経緯を教えてください
- カジマさんといえば「カニ」ですが、カニに対する思いをぜひ聞かせてください
- カジマさんの今後について、例えば5年後についてどのように考えているかを教えてください
- 最後に、千萩さんから見て、大洗町はどんな魅力のあるまちですか

— 千萩さんが今、一番関心あることを教えてください

2013年に家業に入って10年目を迎えるのですが、これまでにいるんな部署を経験させてもらって、現在は会社全体を見ることができています。その中で、カジマは「ずわいがにたっぷりコロッケ」といった看板商品があるのですが、次の目玉となる新商品を開発したいなと思っています。

全国各地に展開されているいろんな人気商品に目を向けて、今どんなものが人気なのかをよく調べています。そのきっかけとして、以前九州に行く機会があって、そこで初めて会ったにも関わらず、友達かと思うくらいのおもてなし精神に溢れた人たちに出会いました。その方々は商品や商売について、私が質問する以上の熱量で返答をしてくれ、お客様との日々のコミュニケーションから新商品の開発をしている手法などを伺いました。そのお話に大きな刺激を受けて、「カジマだったら何ができるだろうか」と夜も眠れなくなるほど考えています。

— 商品開発に対する思いがどんどん強くなっているんですね

看板商品である「ずわいがにたっぷりコロッケ」は、商品化されて10年近く経つのですが、開発の背景として私たちはカニの加工をメインとしていることもあり、カニをより身近に感じてもらいたいという思いから食卓にあると嬉しいコロッケをつくらうとなったんです。そこからバリエーションを増やして、お客様から好評いただいているのを見てきたことで、もっとお客様に喜んでもらうためにはという思いが日に日に強くなっています。

茨城県はいろんな食材があるので、地元の食材を使った商品を開発できたらと思っています。私たちは商品を開発できる工場があり、作った商品をお客様に提供できるお店もあります。そのため、水産加工にこだわらず、可能性を見出して一つずつカタチにしていきたいと思っています。

— 千萩さんのこれまでの仕事について、印象的だったことを教えてください

社長からまずは「現場を覚えなさい」ということで、白衣を着てカニの加工をやりました。加工はとてもハードな仕事で、筋肉痛でものが握れないくらいになることも日常茶飯事でした。そんな中で、私たちが販売する商品が工場でこんな感じで加工されていくんだということを学べたのは貴重な経験でした。

また、新事業の店舗の立ち上げにも関わることができ、会社がどんどん変化するフェーズを経験することができました。特に、お客様と直接関わることのできるお店の仕事はとても楽しいなと感じています。思いを込めて作った

— 千萩さんが仕事をする上で大事にしていることを教えてください

私自身が仕事を「楽しむこと」を大事にしています。私が楽しく仕事をしていると、それが周りにも伝わって職場の雰囲気良くなって、どんなに忙しくても楽しもうと思ってもらえるのかなと思っています。さらに、職場の雰囲気はそのままお客様にも伝わるので、まずは自身が率先して楽しみながら仕事することを意識しています。

実際に私が何かをやってみた時に「いいね」とスタッフの方が気づいてくれて、それに対して「じゃあ今度、〇〇さんもやってみて」と伝えたら、自ら取り組んでいたんです。その取り組みが売上につながったりすると、そのスタッフも自信がついて、また違うことにもチャレンジしてみようとなるんです。そのような積み重ねもあって、私が惣菜店の店長になってからは商品数が増えましたし、季節の食材を使った商品を出したりと、日々変化を実感しています。

— とても雰囲気の良い職場なんですね

世の中で今、何が流行っているとか、こういったものが売れているといったマーケットを知ることも大事にしているのですが、それ以上にカジマのメンバーは、とにかくおいしいものが好きな人が多いです。商品開発をするにしても、マニュアルや決まりがあるわけではないのですが、みんなおいしいものが好きだから「これでいいだろう」と妥協する人は一切いないんです。食べてみて「ちょっと違うな」ということをちゃんとと言えるし、「こうしてみたら」とアイデアも出ます。

そこにはより良いものをお客様に提供しようという意識が全員にある職場だからなんだと思います。また、カジマのスタッフは主婦の方が多く、「お母さんの味」みたいなものが基本にあって、そこに男性の方が食べて「もう少しパンチが欲しい」といった意見をもらっているのも、誰にでも愛されるおいしさにつながっているのだと思います。

— 水産加工業をメインとしていた事業から、飲食・小売業にも至った経緯を教えてください

2011年の東日本大震災で、私たちの工場は大きな被害を受けたのですが、それでも工場にわざわざカニを買いに来てくれる人がたくさんいたんです。その状況で、はじめは冷凍食品を販売する店舗にしたらいのでは？という意見が出たことが始まりでした。ただ、冷凍食品だけでは毎日お店に来てくれる機会にはならないと思い、手作りのフライやお惣菜を提供すれば、より頻度高くお店に来てもらえるのではというところからスタートしました。そこから地元の方々と接する機会が増え、その後「ガールズ&パンツァー」とい

— カジマさんの今後について、例えば5年後についてどのように考えているかを教えてください

カジマに入社した後に、若手経営者の会に参加した時に同じ質問に答えられなかったんですが、今日はしっかり答えたいと思います。まず可能性としてあるのは「魚」に偏っていないことです。現在は魚がメインですが、たくさんのお客様と接してきたこと、そこで開発してきたフライや惣菜などの経験を活かして、地元の食材を使った新商品を提供したいと思っています。新しい商品が店頭で並ぶことで、お客様にもスタッフにもより楽しいお店だと思っていただきたいですし、それがどんどん挑戦できる会社になっていきたいと思っています。

— 最後に、千萩さんから見て、大洗町はどんな魅力のあるまちですか

私は大洗で生まれて大洗で育ちました。なので、大洗の人も食も大好きです。学生の頃は東京に出たい気持ちが強くあったのですが、東日本大震災を機に大洗に帰ってきたら、いろんな人が声をかけてくれました。道路を歩いている時も声をかけてくれたり、車のクラクション鳴らしてくれたり、家族のようにアットホームな雰囲気です。そのため、知り合いだけでなく、観光で訪れた人にもフラットに接する人たちが多くいます。その人の温かさをぜひ現地で感じていただけたら嬉しいなと思います。

また、なんととっても大洗は食材が豊かなまちなので、いろんなお店で提供する新鮮な食材をぜひ味わっていただきたいです。私はそんなところで育ってきたので、すごい幸せな人間だなんて思うので、これからはその魅力をもっと町外の人たちにも伝えていきたいと思っています。

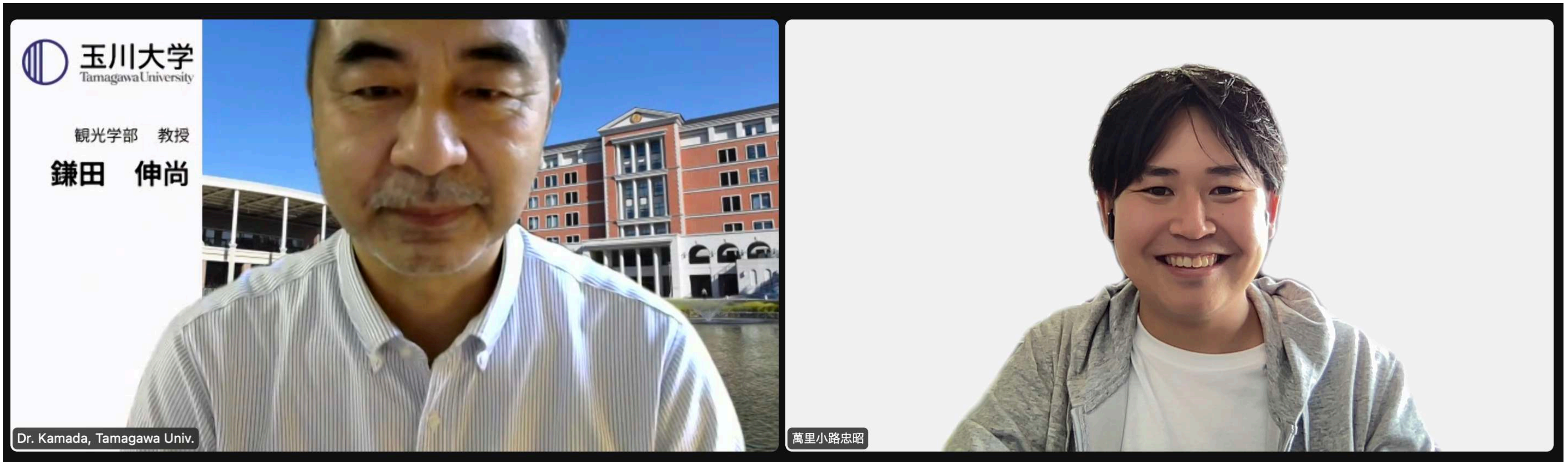


取材・編集：萬里小路 忠昭 (Owarai Quest)

関係人口の創出

①大学連携（玉川大学・茨城大学）

教育機関と連携し大洗町の地域課題を学生と共に考える



玉川大学観光学部（鎌田教授）との取り組み

- 7月17日（木）：1年次セミナー講義 「大洗町の関係人口」
- 10月20日（木）：1年次セミナー講義 「アイデアの作り方」
- 11月30日（水）：地域文化論 講義 「カオスマップの作り方」
- 12月1日（木）：1年次セミナー講義 「グローバル×キャリア」
- 12月7日（水）：地域文化論 講義 「大洗町の移住促進」
- 12月22日（木）：1年次セミナー講義 「ローカル×キャリア」
- 1月4日（水）：大洗町フィールドワーク（受講生3名アattend）
- 1月11日（水）：地域文化論 最終プレゼン講評

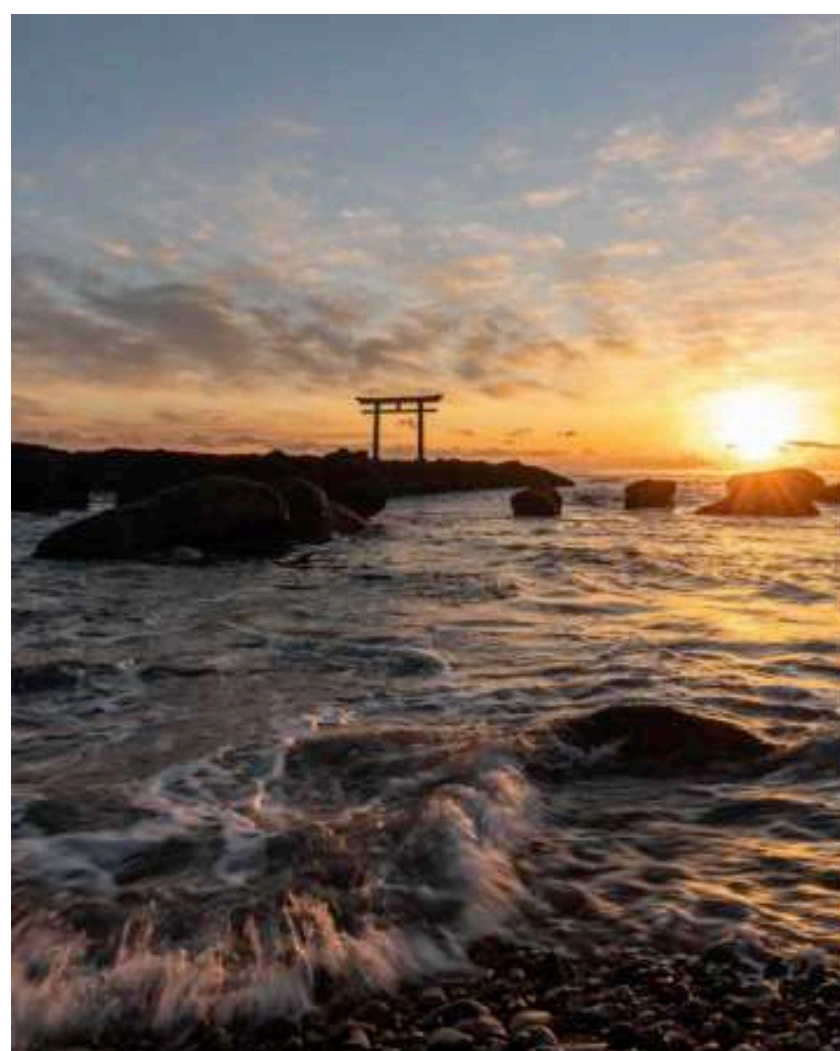
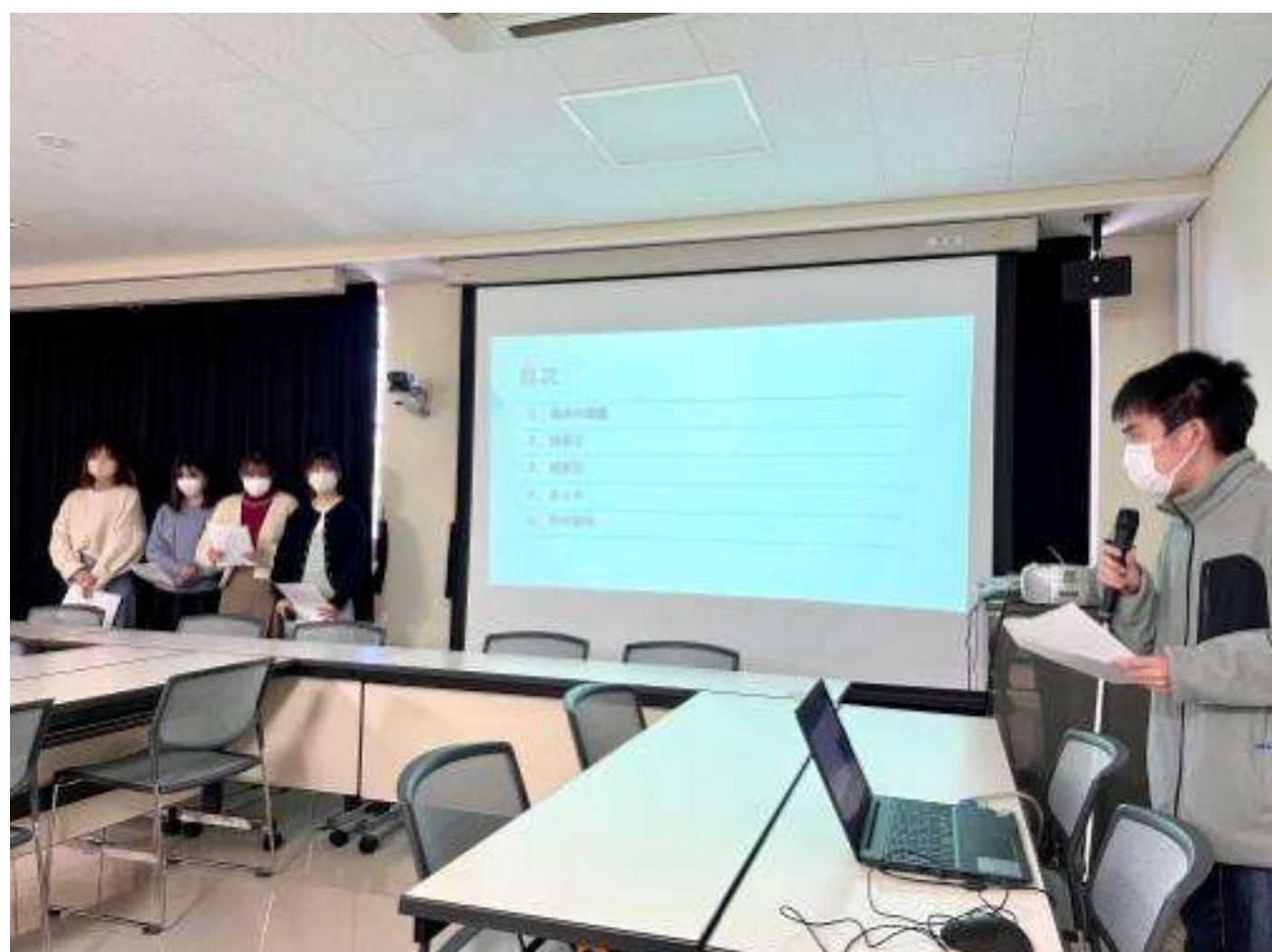


グループ名	SISR	グループメンバー
企画のタイトル	大洗町関係人口増加プロジェクト	
企画の概要	<p>＜コンセプト＞ 若い人だけではなくお年寄りまで幅広い年代の関係人口を増やす</p> <p>＜背景＞ 現代の日本の少子高齢化が加速していることが背景にあり大洗町の人口は2000年以降2万人を切り2040年には1.2万人になると推測されている</p> <p>＜手段＞ 実際に大洗町に行くことが難しいためインターネットの情報を使った</p> <p>＜ターゲット＞ 自分たちの祖父、祖母の年代から次世代を担う若者まですべての年代</p> <p>＜私たちがこの企画を行う目的＞ 人口が減少している町の地域活性化の手助けをすることで日本全体の町問題への見方を変えるため</p>	
大洗町にとって本企画の意味や価値	関係人口を少しでも増やすことで地域活性化につなげる	

グループ名	アライッペ	グループメンバー
企画のタイトル	修学旅行の候補地を目指す	
企画の概要	<p>修学旅行のプランの中にグランピングを入れる 対象は小中学生 場所は森と海が見えるところ 1日目キャンパ2日目グランピングみたいなプランにする</p> <p>プラン 1日目 森 アライッペによる大洗町の紹介 フリータイム（水族館、古墳、めんたいパークなど） 夜 大洗町の野菜を使った料理を作る グランピング</p> <p>2日目 山 海に行き海鮮丼を食べ、山に行く BBQ 夜 キャンプファイアー 星を見る 自分でテント作り</p> <p>3日目 山で足湯、温泉、ソウルフード お土産を買う（センターいきいき）</p>	
大洗町にとって本企画の意味や価値		

茨城大学人文社会学部（西野教授）との取り組み

12月8日（木）：プレゼン・スタディ 講義
「大洗町の移住促進を考える」
2月2日（木）：プレゼン・スタディ
最終プレゼン 講評



プレゼンスタディ

大洗町 移住促進のための提案

大洗B班

1. ターゲットを絞って空き家を リノベーションするプロジェクト

例：海沿いの自然豊かな神奈川県茅ヶ崎市
■「サーフスポット茅ヶ崎」
利用者を想定してリノベーション
→設備をアピールして若者を呼び寄せる



大洗町でも…
予めターゲットを絞って
リノベーションを行う
→マリンスポーツ/サイクリング等
を楽しみたい若者



2. シェアハウスを “みんなで作っていく”プロジェクト

例：KGU空き家プロジェクト
■「こずみのANNEX」
学生シェアハウス+
地域の若々のためのラウンジ
→空き家の解消+地域との交流



大洗町でも…
シェアハウス+地域の人・観光客
・入居者の共有スペース

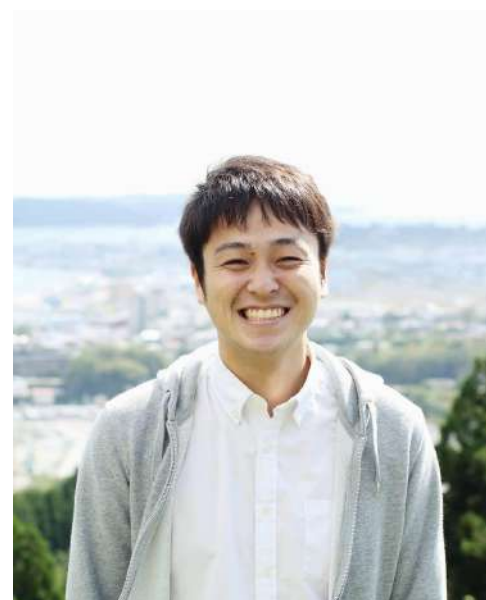


②Local Quest Lab（地域間連携）

月1で他の地域でまちづくりをするプレイヤーと意見交換

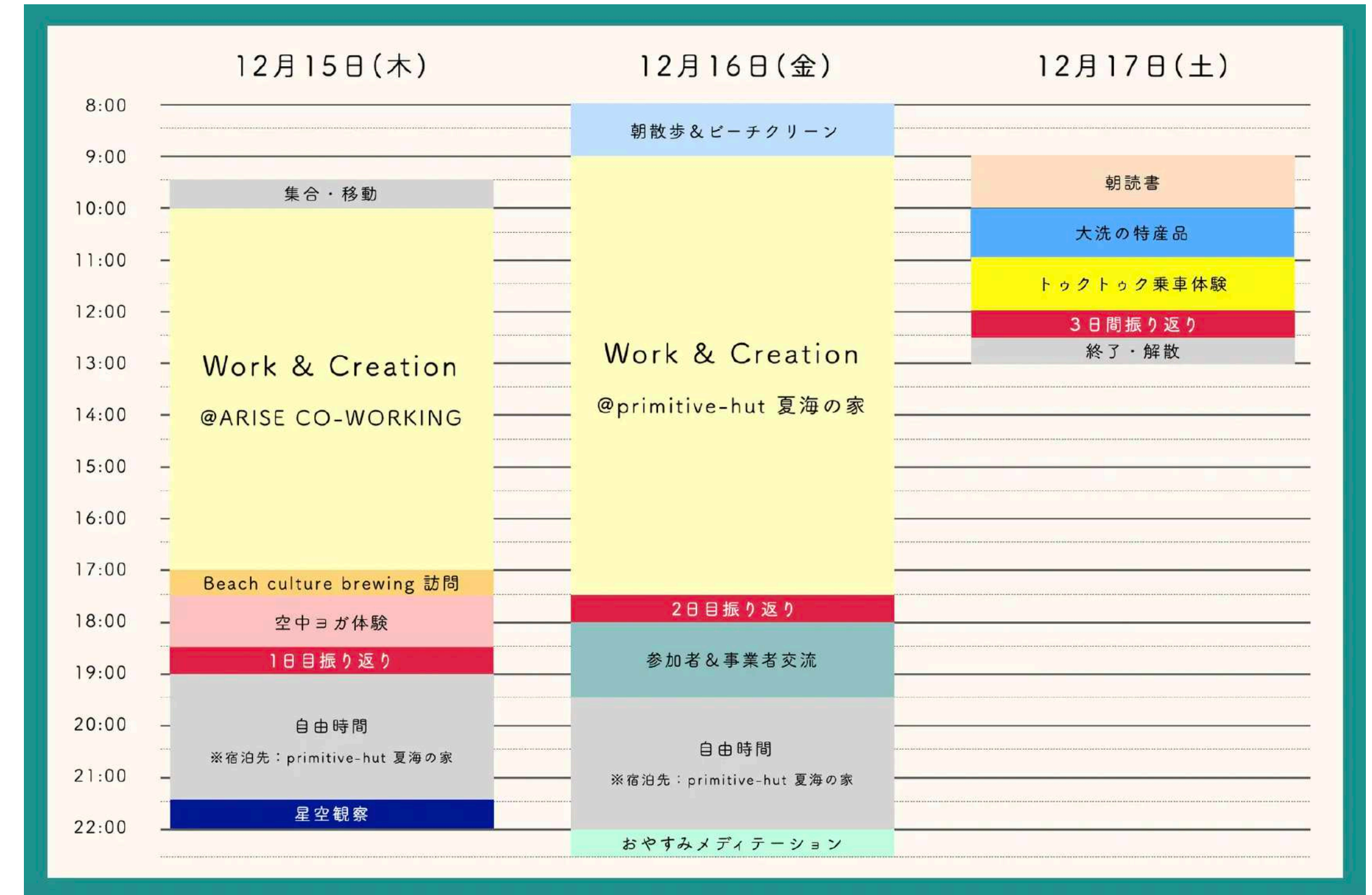
これまで関わった地域

1. 北海道士別市
2. 岩手県釜石市
3. 宮城県気仙沼市
4. 群馬県高崎市
5. 静岡県静岡市
6. 徳島県徳島市



③ ワークেশヨンプログラム

大洗町の地域資源を生かしたワークেশヨンを企画



関係人口
の創出

東京などに住む5名の会社経営者・会社員が参加



Re

Work & Creation

Relax

Refresh

Reflect

Review

Reset

Restart

④ Create Owarai プログラム

大洗町の地域課題を3ヶ月間で考えてアウトプットする

Create Owarai

地域共創型まちづくりプログラム



人口約1・5万人の茨城県大洗町で
「もの」(特産品)
「ひと」(暮らし)
「こと」(場づくり)
の3つのテーマから
まちの未来を一緒に創造しませんか。

もの



特産品

大洗町の事業者が
生産・販売する特産品
を多くの人に広める

ひと



暮らし

大洗町の新たな
暮らし方を提案し
移住定住を促進する

こと



場づくり

大洗町に住む人や
訪れた人が気軽に
交流する場をつくる

大洗町で活動する事業者さんと共につくる・考える



カジマ

梶間千萩さん



にんべんいち

坂本貴英さん



TODAI
STREET FOOD
AND COFFEE

三橋勇太さん



わづくる
(OURoom)

平間一輝さん



大洗海風
ヨガスタジオ

小林綾子さん

関係人口
の創出

12名の会社員が大洗町のまちづくりに参画



関係人口
の創出

3チーム計で約150名近くの方がイベント参加



Create Owarai 成果発表イベント

地域共創型まちづくりプログラム

日時 2023年3月25日(土) 10:00 - 17:00

場所 茨城県大洗町 町内各会場

町外在住の社会人12名と町内の事業者5名が大洗の「もの」「ひと」「こと」をテーマに連携協力して生み出したまちづくりアイデア



もの	ひと	こと
かに・いも調査大作戦	第1回 大洗フロンティア会議	大洗の魅力と思い出をあなたにおすそわけ
		
大洗の新しいお土産開発に関する参加型調査イベント	大洗の暮らしを町民と一緒に考える交流イベント	大洗の魅力と未来を語る交流イベント & 大洗の写真展&記念撮影イベント



移住定住の促進

① 移住定住の取組整理

移住者の声を盛り込んだ移住定住の紹介資料を作成



田舎以上都会未満の暮らし、大洗

大洗町の概要

海洋性に恵まれた自然環境が特徴！



大洗町

人口：15,180人（令和4年10月1日現在）
世帯数：6,656世帯（令和4年10月1日現在）
面積：23.89km² ※県内で2番目に小さくコンパクトなまちです。
アクセス：（電車）東京駅からJR常磐線特急で水戸駅まで約75分
水戸駅から鹿島臨海鉄道大洗産直線まで約15分
（車）三郷JCTから常磐道で支那JCTまで約60分
支那JCTから北関東道で水戸大洗IC～国道51号で約30分

大洗町は、茨城県の太平洋沿岸のほぼ中央に位置し、穏やかな気候に、白砂青松の美しい自然に恵まれた海辺のまちです。年間300万人近くの観光客が訪れる県内随一の観光地です。サーフィン、釣り、海水浴、キャンプ、サイクリングなどの自然環境を生かしたアクティビティを楽しむことができます。また、漁業や農業が盛んな地域で、1年を通して新鮮な魚や野菜などを味わうことができます。ここ数年はテレワークの普及もあり、20～30代の若い世代の移住や地域づくりに関わる人たちの活動が顕著で、新しいことにチャレンジする機運が醸成されています。

自然豊かな環境で暮らしたい
起業・創業などに挑戦したい

趣味や好きな事を楽しみたい
関係人口として関わりたい

大洗町

移住支援金について

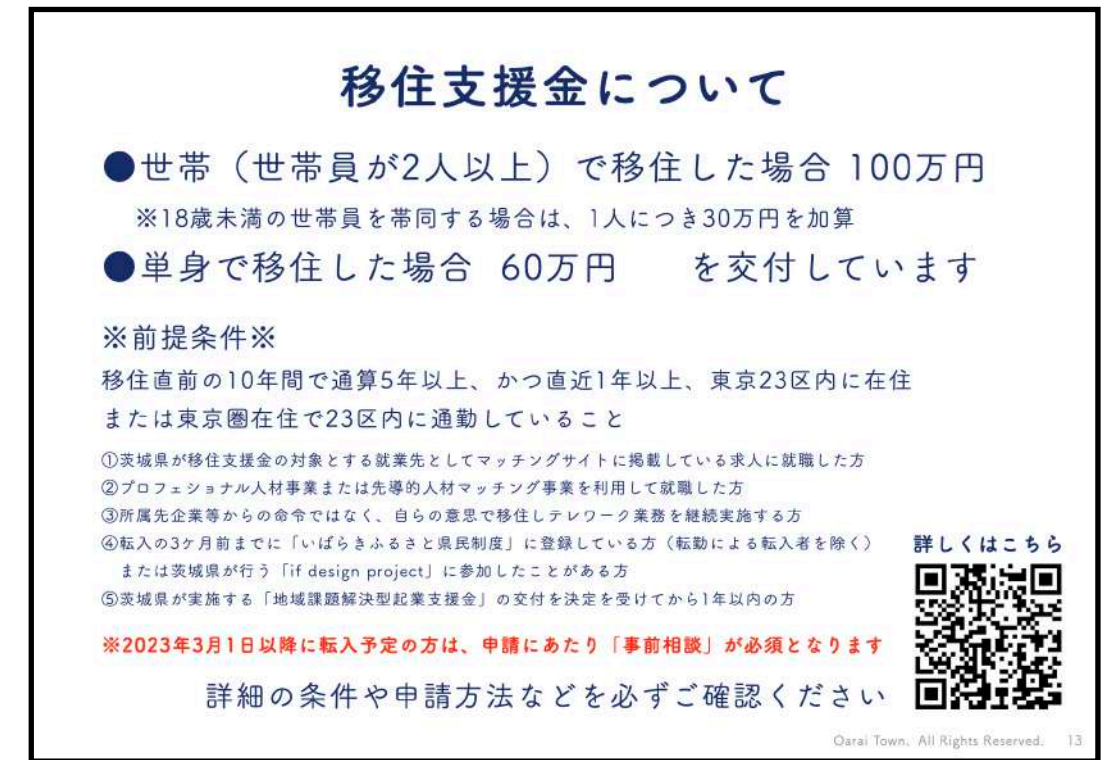
- 世帯（世帯員が2人以上）で移住した場合 100万円
※18歳未満の世帯員を帯同する場合は、1人につき30万円を加算
- 単身で移住した場合 60万円 を交付しています

※前提条件※
移住直前の10年間で通算5年以上、かつ直近1年以上、東京23区内に在住または東京圏在住で23区内に通勤していること

①茨城県が移住支援金の対象とする就業先としてマッチングサイトに掲載している求人に就職した方
②プロフェッショナル人材事業または先導的人材マッチング事業を利用して就職した方
③所属先企業等からの命令ではなく、自らの意思で移住しテレワーク業務を継続実施する方
④転入の3ヶ月前までに「いばらきふるさと県民制度」に登録している方（転勤による転入者を除く）
または茨城県が行う「if design project」に参加したことがある方
⑤茨城県が実施する「地域課題解決型起業支援金」の交付を決定を受けてから1年以内の方

※2023年3月1日以降に転入予定の方は、申請にあたり「事前相談」が必須となります

詳細の条件や申請方法などを必ずご確認ください



大洗町に関するランキング

住み続けたい街 第2位

※大東建託 街の住みこころ&住みたい街ランキング2022（茨城県版）より

順位	昨年	自治体名
1位	1位	守谷市
2位	-	東茨城郡大洗町
3位	2位	那珂郡東海村
4位	5位	利根郡阿見町
5位	16位	結城市
6位	10位	那珂市



大洗町の魅力

四季を通じて楽しめる魅力が満載！

- もの** 四季折々の豊かな海の幸や海風に吹かれて育った新鮮な農作物が手に入り、街中には個性豊かな食堂やお店が立ち並んでいます
- こと** 観光地ならではのおもてなしと豊かな自然を生かしたイベントや町のグルメが集結したお祭りなど、たくさんの笑顔が溢れています
- ば** 趣味を楽しむ、自然の中でゆったりと過ごす、人と交流する、歴史・文化を感じるなど、一人でも家族でも楽しめる場があります
- ひと** ここ数年、大洗町へ移住した方や地域づくりに関わる方によって新しいサービスやプロジェクトが生まれ、地域が活性化しています

移住者の声

大洗町に移住した方に聞きました！

移住してよかったこと

- ・海や自然が美しく、心にゆとりのある生活やゆったりとした時間を過ごせること
- ・自分の好きな町で、その町のために働くという充実感を持てたこと
- ・移住がきっかけで新たな趣味（サーフィン）を始めたこと
- ・家族との時間が多くなったこと
- ・科学館や水族館、自然や科学を取り扱った課外事業などに参加したことで、子どもと一緒に楽しく学べる機会が増えたこと
- ・米、豚肉、野菜、魚と茨城県産の露地の美味しい食べ物が食べられること
- ・小さな町だからこそ、人との繋がりが強く温かく感じたこと
- ・都会にいた時より心が穏やかに、素直にいられる感覚があること

大洗町のいいところ

- ・朝起きてちょっと散歩すると海からきれいな朝日が見えて広い海に心洗われて1日のパワーをもらえる
- ・小さな町だからこそ、近所の人と「元気？いってらっしゃい！いってきます！」みたいなちょっとした会話ができて、町の人の温かみや優しさを感じられる
- ・大洗アクアワールド水族館や大洗わくわく科学館などのスポットや、大洗花火大会やあんこう祭り、八朔祭などイベントがいっぱいあって家族で楽しめる
- ・何か新しい事を始める時、外様を拒むような事は無い雰囲気なので、チャレンジがしやすい
- ・大洗町民や町外の方々による様々な社会活動が盛んで自由に参加し楽しむことができる

移住や関係人口に関するご相談

以下のメールアドレスまでお気軽にご相談ください。

oarai_iju@town.oarai.lg.jp

大洗町役場
まちづくり推進課 地域振興係



② 広域連携事業

県央地域9市町村と連携して大洗町の暮らしを提案



画像はイメージです

地域プレイヤーとじっくりつながる！

好きなツアー行程を選んで体験！！

#いばらき
IBAKI
どまんなかライフ

#いばらきどまんなかライフ
IBAKI
いばらき県央
移住体験つながるツアー

《開催日》
R5.3.4 (Sat.)
《参加費》
2,000円/人
(小学生以下無料)

地域の素敵なライフスタイルと出会おう！

子どもと遊びながら地域とつながる！



③茨城県（計画推進課）連携

移住ポータルサイト&移住セミナーで移住定住を促進

Re:BARAKI

移住者インタビュー



いばらき暮らし
セミナー



本年度の活動を振り返って

意識してきたこと

アウトプットファースト

一人でやるのではなくみんなで行う

内の**魅力**と**課題**を外に、外の**視点**と**知恵**を内に

意識してきたこと

アウトプットファースト
＝自分なりに捉えた

一人でやるのではなくみんなで行う
大洗町の課題

内の魅力と課題を外に、外の視点と知恵を内に

町への提案

大洗町の**もの・ひと・こと**をまとめた**情報サイト**の開設

個人だけでなく**企業・教育機関・支援団体**等との取組を拡大

観光振興
移住定住の促進

+

地域づくりに関わる人・企業、外からの視点・知恵など
関係人口の創出により注力を

来年度の活動について

主な活動テーマ

引き続き今年度と同じテーマで活動を進化させる

地域資源の
発掘・発信

関係人口
の創出

移住定住
の促進

来年度も引き続き
よろしく願いいたします

